



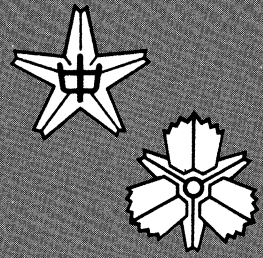
発行所

〒921  
金沢市泉野出町3丁目10-10  
石川県立金沢泉丘高校内

一泉同窓会

電話(0762)42-0211

1992. 8. 1 発行



# 母校創立100周年

## 皆様のいっそうのご支援を



### 一泉創立100周年記念事業実行委員会

来年は、我らが一泉創立100周年であります。

この記念すべき年を迎えるに当り、100周年の節目を意義あるものとして、後世に残すと共に、さらに21世紀へ向けての一大飛躍を期し一泉同窓会基金の設立をはじめ、多彩な記念事業・行事を計画し実行することを決定、その準備活動を、一昨年8月から各卒業年度における常任委員、世話人の方々が中心となって強力に進めて参りました。

お陰様で現在の募金状況は、別記のとおり総目標額の半分余達成しました。しかし昨今、遺憾ながら低調で、最終目標迄にはまだ相当の開きがあります。

同窓生諸兄姉のなかには募金のご意志をお持ちでありながら、時期尚早感や所用繁多のため、まだご送金頂けない向きもあることと存じます。

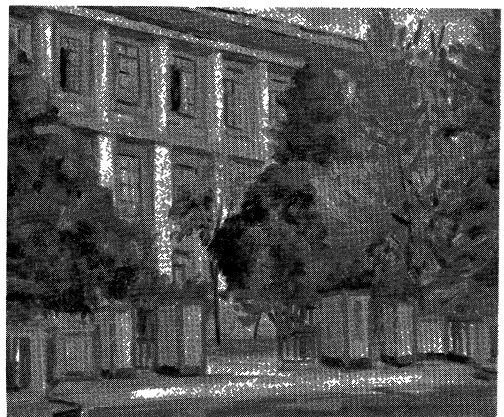
「光陰矢の如し」のとおり、残り1年有余で記念日当日が参ります。

各位におかれましては、何卒いま一度、以上の趣旨をご理解のうえ、早めのご協力、ご送金を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

とくにご存じの通り、一泉同窓会基金の設立は、在校生の人材育成などを目的としており、各分野において活躍の場を作ることもあって、この100周年記念の募金を第1次基金としてスタートするものであります。

これら基金の目的達成と記念事業、行事遂行には、多額の資金が必要であることは勿論、同窓生一人ひとりの深いご理解と暖かいご援助があってこそ実現できるものと確信いたしております。

是非、桜章健児の意気を顕示し、「一泉」にふさわしい100周年記念事業を成功させたく、諸兄姉各位の一層のご支援とご協力をひとえにお願い申し上げます。



「思い出の校舎」高川義一・画

(一中35期・一泉桜美会会員)

## 一泉創立100周年記念事業募金状況一覧表

平成4年5月31日現在 (単位千円)

卒業期	募金額	達成率%
一中		
~30	245	
31	115	95.8
○32	1,180	786.6
○33	450	281.2
34	125	59.5
○35	305	203.3
○36	285	158.3
○37	217	120.5
○38	305	190.6
○39	530	100.0
○40	700	106.0
41	957	147.2
○42	875	125.0
43	500	89.5
○44	862	119.7
○45	735	100.6
46	570	67.8
○47	721	100.0
48	630	75.9
○49	1,200	121.2

卒業期	募金額	達成率%
一中		
50	1,690	74.1
51	1,000	43.1
52	1,190	48.1
53	1,510	62.9
54	1,700	47.4
55	1,630	51.5
56		
57	960	30.6
58		
一高	400	12.9
泉丘2	1,690	96.0
3	2,020	63.5
4	1,000	20.9
5	250	5.6
6	3,000	60.1
7	2,600	50.9
8	3,660	63.3
9	2,720	43.9
10	2,480	41.8

卒業期	募金額	達成率%
泉丘		
11	2,800	55.6
12	3,900	80.7
13	1,470	28.4
14	2,213	43.0
15	800	15.5
16	2,220	52.3
17	1,810	31.8
18	3,200	56.7
19	2,328	45.3
20	1,800	36.5
21	1,235	34.9
22	1,080	34.0
23	740	23.8
24	1,280	40.6
25	895	29.7
26	280	9.5
27	800	28.1
28	700	24.6
29	700	25.0
30	500	17.6

卒業期	募金額	達成率%
泉丘		
31	597	42.0
32	365	25.7
33	255	17.7
34	505	31.6
35	346	21.6
36	437	27.3
37	200	12.5
38	310	37.8
39	337	37.4
40	350	35.7
41	425	47.7
42	608	68.3
○通信	2,200	110.0
合計	78,693	52.4

○印は目標達成された期です。

## 宇宙をめざせ、新しい世代のエネルギーに点火を 100光年の星の光を求めて

100年前、母校誕生の時に、宇宙の遙か彼方の星が放った光を、今我々は眺めることが出来るのである。遠い過去のように思える100年前の光を、今現実のものとして見る事が出来るのである。平成5(1993)年10月15日の創立100周年記念祭の夜空を、ハクチョウ座やアンドロメダ星雲の近くにある100光年の星達はどんな光で飾ってくれるのだろうか。

かえりみれば母校の歩んだ100年は我が国が辿った道そのものであった。それは精一杯に生きて来た人間の歴史の道筋であり、もはや善悪を超絶した目で見なければ整理しがたい血のにじむ様な年月であった。今、此の100周年記念の節目に当たり一泉同窓生のたどった道を尋ねれば、その活躍は竹の根のごとく世のあらゆる分野に根深く広

く、ある時は陽の当たる場所に、又目立たぬ所にあってもしっかりと世を支える柱となってその力のいかに大きく、数のいかに多いかを知るのである。そしてこのような我々同窓生を育ててくれた母校と、我々を永い間静かに暖かく見守ってくれた地域社会の人々に感謝の気持を捧げずにはられないのである。

一泉同窓会は、これからの母校の歴史がより高く広く遠く遙かに果てしなく続くことを願いながら100周年記念事業をすすめている。互いに声を掛けあい、例え小さな力であろうともより多くの方々の力を集め続けてそれが大きなうねりとなり、ついには臨界状態に達してひとつとなった情熱のかたまりが美しく昇華する日が実現することを心より祈り続けるものである。

